

経営比較分析表（令和4年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 五島中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	対象	ト透訓	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	20,410	-	第2種該当	10：1

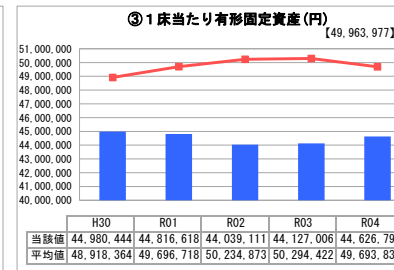
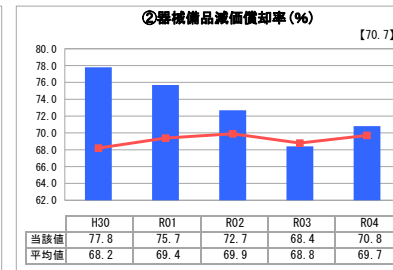
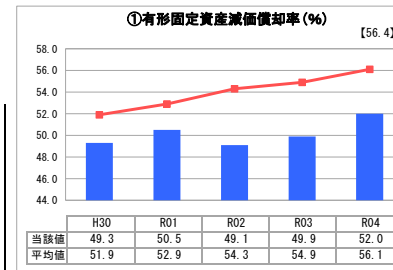
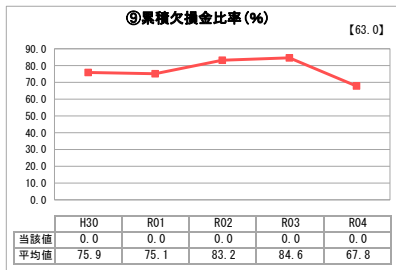
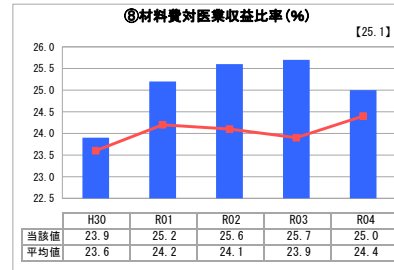
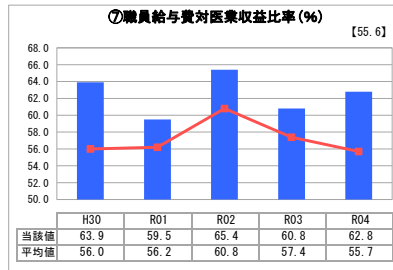
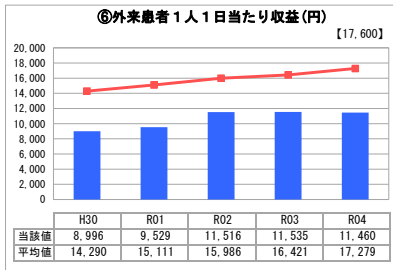
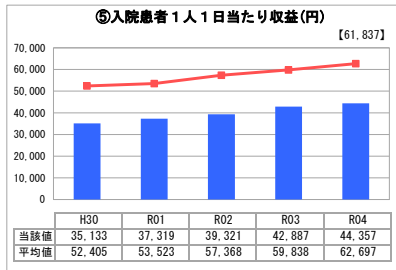
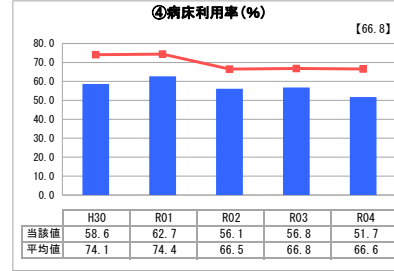
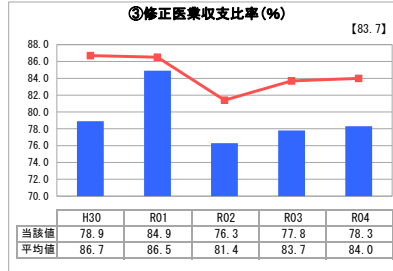
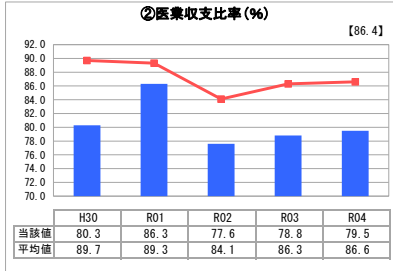
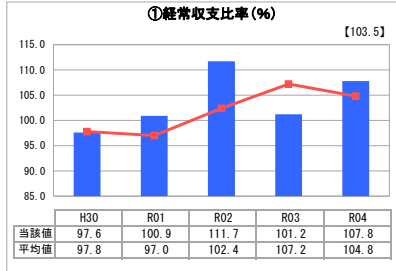
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
249	-	10
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
60	4	323
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
225	-	225

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
継続強化 （従来の可搬・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割
五島地域の中核病院としてへき地医療拠点病院、地域災害拠点病院、二次救急輸送制病院、幹幹型臨床研修病院の機能を担っている。また、がん医療、急性心筋梗塞医療、精神科医療、一般救急医療、周産期医療を提供している。加えて、脳卒中医療、糖尿病医療、小児救急医療も一部提供しており、大きな柱として「地域医療への貢献、高度医療の提供」を掲げている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者1人1日当たりの収益は増加傾向であるが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響による診療制限により病床利用率が悪化し、医療収益が減少した。結果、②～⑧は全国平均・類似病院平均を下回っている。⑦の職員給与費対医療収益比率は給与改定により給与費が増加したことも影響している。また、⑧の材料費対医療収益比率については類似病院平均を上回っていることから材料・医薬品等の効率的な調達や管理が必要である。当院の経営の健全化のためには病床利用率を改善し、収益の確保に努め、経費削減対策が必要である。

2. 老朽化の状況について

当院は平成13年度に建築されており、21年が経過し建物・施設設備の老朽化は進んでいる。①の有形固定資産減価償却率は平均値を下回っているが、②の器械備品減価償却率は平均値を上回っている。器械備品は老朽化が激しいため、今後も計画的な更新に努めていく。③の1床当たりの有形固定資産は平均値を下回り、ほぼ横ばいで推移している。設備投資については必要性、適切な規模及び適切な時期を十分検討し行っていく。

全体総括

新型コロナウイルスの影響による診療制限により病床利用率は改善しなかったが、入院患者1人1日当たり収益は増加傾向である。経営の健全化のためには、今後も地域の医療機関、介護施設や行政等との連携強化を図り、さらなる患者確保に取り組む必要がある。また、五島地域は、人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しており、患者の医療ニーズも変化してきていることから、将来を見据えた医療提供体制の構築が必要である。今後も当院では高額な施設設備、医療機器の更新が予定されており、資金収支の悪化が見込まれる。資本的支出の増加は減価償却費を増加させ、経常収支を悪化させるため、維持管理・更新等に係る費用の削減・平準化を図る必要がある。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。